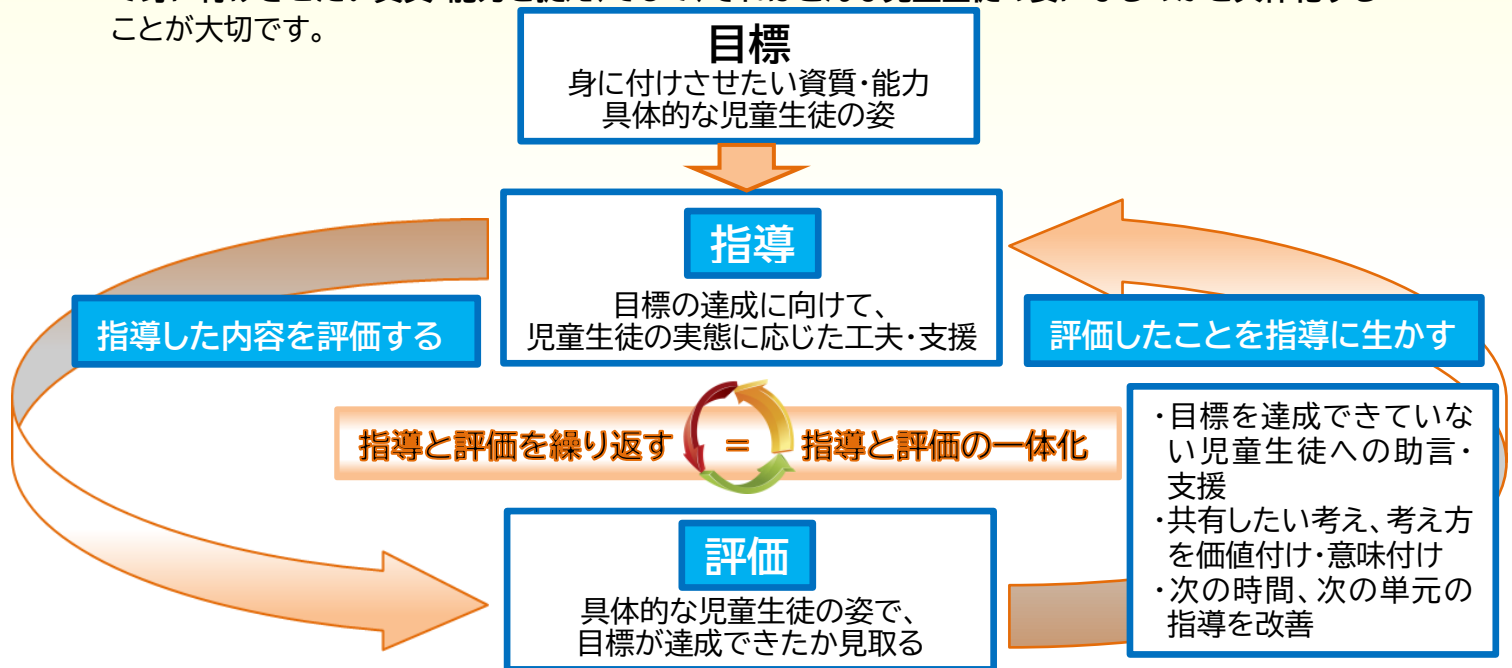


LOOK! 「指導と評価の一体化」とは

「指導と評価の一体化」とは、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を具体化した到達目標に向けて、教師は、実態に応じて指導を工夫し、指導した結果を児童生徒の姿で評価する。そして、評価したことを次の指導の改善に生かす。さらに新たな指導の成果を評価する。このように、児童生徒の学習改善、教師の指導改善につながるよう、指導と評価を繰り返す営みが「指導と評価の一体化」です。

「指導と評価の一体化」を図っていく上で、まずは、「何ができたら○(まる)か」という単元(題材)で身に付けさせたい資質・能力を捉え、そして、それはどんな児童生徒の姿になるのかを具体化することが大切です。

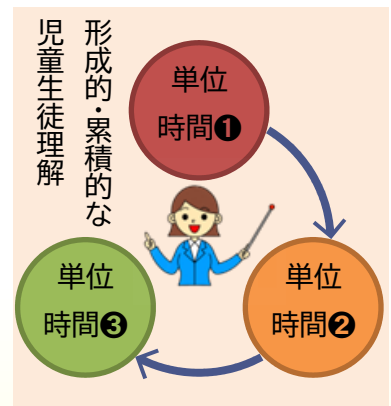


POINT 単元(題材)を通した「指導と評価の一体化」

一単位時間の授業はそれ単体で独立したものではなく、単元(題材)全体の連なりの中にあるものです。児童生徒にとっても授業は連続性の高いもので、単元(題材)の中で学んだ内容を結び付け、身に付けたい資質・能力を育てていきます。

したがって、指導する側は単元(題材)を通して、児童生徒の変容を促したり、捉えたりしながら、形成的評価を積み重ねていく必要があります。

一単位時間ごとに指導を振り返り、実態把握に努めますが、その際に、一単位時間ごとを「点」の学習時間として捉えるのではなく、学習状況を累積的に捉え、見届ける方法を工夫すると、よりよい児童生徒理解につながっていきます。



POINT 指導しきる授業を

目標に基づく「確かな学力」が身に付く授業を目指します。

そのためには、次の2つの場で「指導と評価の一体化」を大切にします。

指導の場

【児童生徒とのやり取りを想定した教師の出場】

学習状況や実態を見取ることは、児童生徒に寄り添うことにつながります。事前に児童生徒とのやり取りを想定し、その反応を見届けた直後に、その子にあった支援を行いましょう。

見届ける場

【思う存分に思考・判断・表現ができる場】

同じ事象を見ていても、個々の見方・感じ方や習熟度は異なります。児童生徒一人一人が、自ら考え、話したり、書いたりするなどの表現する場を積極的に位置付けましょう。

導入



資質・能力を身に付けた単元(題材)終末の児童生徒の姿を具体的に描き切り、その単元終末と連動させ、児童生徒の願いをのせた課題設定と課題解決のための方法と見通しをもたせましょう。

社会

具体的な資料(事実)から、児童生徒の思考の流れをイメージし、課題意識につながる導入を考えましょう。

生活

一人一人に自分の願いをもたせ、どんな願いをもって活動しようとしているかを、把握しましょう。

音楽

題材を通して身に付けさせたい資質・能力と、本時との関連を吟味して、子どもたちに提示する課題を考えましょう。

体育・保健体育

課題提示において、学習内容を確実に身に付けることができるよう個に応じた段階的な練習方法等を具体的に示しましょう。

総合的な学習の時間

児童生徒の考えとの「ずれ」や対象への「懂れ」を感じる出合わせ方を工夫し、課題・探究サイクルを児童生徒のものにしましょう。

特別支援

一人一人の特性に合わせて、課題解決までの見通しをもたせ、学びに向かう姿が持続できるようにしましょう。

展開



予想・期待する目の前の児童生徒の具体的な反応や姿を描き、促し・価値付け・方向付ける多様な手立てや発問を具体的に考えましょう。

国語

その言葉があることの良さや言葉・表現・構成の意図等、言葉による見方・考え方を働かせて思考する発問を吟味しましょう。

理科

観察、実験を行う際は、どんなつまずきが起こりそうかを事前に想定し、それに対する手立てを考えておきましょう。

家庭、技術・家庭

学びの自覚を促す指導や見方・考え方を働かせている姿の価値付け・根拠への問いを、意図して行いましょう。

外国語活動、外国語

中間指導(交流)で指導したことができているかを確実に見届け、できていない場合は、再度指導するようにしましょう。



指導したことを評価するために、ねらって評価材料を取りに行く働きかけや活動を仕組み、変容や伸びをメタ認知できるように工夫をし、次時につなぐ評価をやりきりましょう。

算数、数学

仲間の解き方や説明を聞いて理解したことを「自分でやってみる・説明してみる」時間を十分に取らしましょう。

図工、美術

自己の変容を実感するために、造形的な視点で振り返りを行うことができるよう、ワークシートの文言を工夫しましょう。

終末



特別の教科 道徳

道徳的諸価値について理解を基に、これまでの自分の生き方を見つめられるよう評価の視点を明確にして発問をしましょう。

特別活動

活動の結果だけでなく活動の過程における児童生徒の努力や意欲、児童生徒のよさを実感できる振り返りを工夫しましょう。

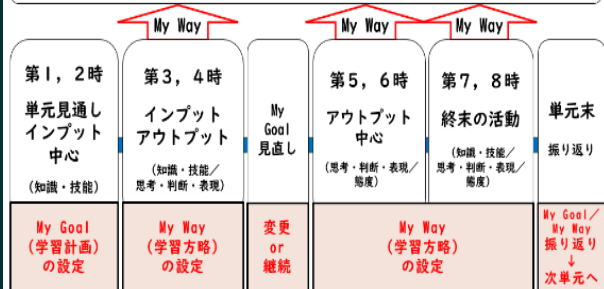


自らの学び方を自己調整するための個人目標（My Goal・マイなび）の設定と振り返りの在り方

外国語【第6学年】

単元の目標・貫く課題 / 単元終末の言語活動

My Goal...単元目標を達成するために自分が大切にしていきたいこと



国語【第5学年】



「マイなび」の設定について

※「一人読み」と「仲間読み」それぞれに対してめあてを設定する

【一人読み】

- ①色々な「読みのて」を使って気持ちを読みとる。
- ②短い言葉で線を引いて、ぴったりな「読みのて」を使って読みとる。
- ③「これだ!」と思う言葉をぴったりな「読みのて」を使って読みとる。
- ④「ふなげ」を使って、言葉と言葉や前の場面とつなげて読みとる。
- ⑤情景描写に着目して、読みとる。

【仲間読み】

- ① 自分の意見を適切な声で最後まで伝える。
- ② 仲間の意見を、どんな意見が分かるよう聞く。
- ③ 仲間の意見を自分の意見と比べながら聞く。
- ④ 仲間の意見の感想+自分の意見を伝える。

<読みのて>
調べて
かくして
おきかえて
つなげて



【3場面(前半)】

前時で立てた一人読みのめあて「ぴったりの『読みて』を使って読み取る」を達成できた。

次は、色々な言葉に着目して、大造じいさんの心情の変化に気付ける学び方をしたい。

【3場面(後半)】

前の場面の言葉にも着目して読み取ることができた。

次は、「読みて」の「つなげて」をたくさん使って取り組みたい。

【仲間の「読みのて」の使い方から学ぶ】

仲間の意見をしっかりと聞くことが
できた。(学び方／学習方略)

3場面（後半）

- ①一人読みのめあてについて
- ②仲間読みのめあてについて
- ③次の時間は、どんな学び方をしたいか

3場面（前半）

- ①一人読みのめあてについて
- ②仲間読みのめあてについて
- ③次の時間は、どんな学び方をしたいか

令和6年度 岐阜県「指導と評価の一体化」指導資料

令和7年3月発行

編集発行 岐阜県教育委員会 東濃教育事務所

〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067-71

TEL 0573-26-1111(代表)